

種類別明細書（増加資産・全資産用）の書き方（記載例）

※2枚1組の複写用紙となっていますので、下敷きをしボールペンで書いてください。

◎令和5年中に取得した資産（他の市町村からの移動資産のほか、前年前までに取得した資産で申告漏れとなっていた資産を含む）について記載してください。

◎本市に初めて申告される方は、令和6年1月1日現在所有している全資産を申告してください。

令和6年度

申告年度「6」を記載してください。

《個人番号・法人番号》
平成28年度の申告から個人番号及び法人番号の記載が必要です。個人番号の場合は12桁、法人番号の場合は13桁の数字になります。

《資産の名称等》
資産の名称や規格等を20文字以内で記載してください。

《数量》
取得した資産の数量を記載してください。

《耐用年数》
資産の耐用年数を記入してください。財務省の「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」の別表第1、第2、第5及び第6に掲げる耐用年数を記載してください。
※中古資産について見積耐用年数によっている場合は、その耐用年数を記載してください。
※国税局長の承認を得て、短縮耐用年数によっている場合は、その耐用年数を記載してください。

種類別明細書（増加資産・全資産用）

《資産の種類》
資産の種類に記載する数字は、下の表のとおりです。

番号	資産の種類
1	構築物
2	機械及び装置
3	船舶
4	航空機
5	車両及び運搬具
6	工具、器具及び備品

※所有者コード		個人番号又は法人番号※	所有者名		1枚のうち										
この欄は記載しないでください。		1234567891234	益田株式会社		1枚目										
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月		取得価額	(イ)耐用年数	(ロ)減価残存率	(ハ)価額	※課税標準の特例		課税標準額	増加事由	摘要
					年号	年 月					率	コード			
01	1		路面舗装	1	S H R	5 10	1 500 000	20						①・2 3・4	
02	1		看板	1	S H R	5 10	500 000	10						①・2 3・4	
03	2		測量機	1	S H R	30 10	800 000	6						1・2 3・4	申告もれ
04	6		パソコン	2	S H R	5 11	500 000	4		(記載する必要はありません)				①・2 3・4	
05	6		コピー機	1	S H R	5 5	500 000	5						①・2 3・4	
06	6		クーラー	1	S H R	30 7	500 000	6						1・2 3・4	申告もれ
07					S H R									1・2 3・4	
08					S H R									1・2 3・4	
小 計							4 300 000							1・2 3・4	

《取得年月》
資産の取得年月を記載してください。年号の欄は該当する方を○で囲んでください。

S	昭和
H	平成
R	令和

《取得価額》
資産の取得価額を記載してください。取得価額とは、償却資産を取得するために支出した金額をいいます。(引取運賃、荷役費、運送保険料、関税、その他その償却資産を事業の用に供するために直接要した経費を含みます。)法人税法及び所得税法の規定による圧縮記帳は、償却資産の評価上認められていませんので、圧縮前の取得価額を記載してください。消費税については、税込経理方式を行っている方は取得価額に含め、税抜経理方式を行っている方は取得価額に含めずに記載してください。

ページごとに取得価額の合計を記載してください。

《摘要》
次のような事項を記載してください。
1 課税標準の特例がある資産については、その摘要条項
2 耐用年数の変更があった場合は、その旨の表示
3 申告漏れ資産の場合は、その旨の表示
4 その他、その資産の評価に必要な事項

《増加事由》
該当する番号を○で囲んでください。

1	新品取得
2	中古品取得
3	移動による受入れ
4	その他

3枚のうち、2枚目というようにページ数を記載してください。

所有者名をページごとに記載してください。

第二十六号様式別表一（提出用）

